

令和6年度長久手市行政評価票（A票：事業評価表）					対象年度	令和5年度		
事業番号	68	事業名	平成こども塾体験学習事業		担当課	みどりの推進課		
			(大事業名) 平成こども塾事業		予算区分(款-項-目-中事業)	9-4-1-4 平成こども塾体験学習事業		
					決算書ページ	227	～ 一般	
総合計画	基本目標	2	子どもが元気に育つまち		事業開始の背景	平成11年に策定された第4次総合計画の柱の一つ。環境緑地系プロジェクトとして「長久手田園バレー構想」が実施された。その子ども版プロジェクトとして平成18年4月に「長久手町(現市)平成こども塾がオープンした。		
	政策	3	子どもの健やかな成長を支える環境の整備					
	施策	(1)	子どもが主体的に学ぶ機会の創出					市民・民間事業者との連携協働の可能性
	開始年度		平成8年度(2006年)					
その他	終了予定年度		<input type="checkbox"/>	年度	<input checked="" type="checkbox"/>	未定		
	根拠法令等		平成こども塾条例					
	関連計画		平成こども塾マスタープラン、里山プラン、里山基本計画等					
I 基本情報	アウトプット(詳細はⅡへ)				アウトカム(詳細はⅢへ)			
	①事業概要 (どんな取組を行うのか)		②活動指標 (取組の進捗をはかるもの。 また、それがどうなるのか)		③中間成果 (①【対象】がどのような 状態に変わるのか)		④最終成果 (大事業の将来像)	
	【対象】 <input checked="" type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 事業者 <input type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> その他 対象の数： 60,000 【事業内容】 自然とのふれあい、体験を通じた環境教育、地域や人との交流、食体験等の機会を通じて学び、生きる力を育みます。		【アクションプラン指標】 平成こども塾による体験学習事業の実施回数【単年】 【その他の指標】		平成こども塾のプログラムに参加したい人が増える。 (成果指標名) 参加者の満足度		大 事 業 共 通 健全な児童・生徒を育み、身の回りの環境を意識して人と自然の共生に配慮できる人が増える。	

II 活動状況（アウトプットの詳細）	活動指標	活動指標名		単位	基準値（2018年） 目標値（2023年） ※AP指標のみ	区分	R5(2023) 年度	R6(2024) 年度	R7(2025) 年度	R8(2026) 年度	R9(2027) 年度
		1	【アクションプラン事業】 平成こども塾による体験学習事業の実施回数		基準値	213	見込	202	204	204	204
			目標値	190	実績	194					
	2		基準値		見込						
			目標値		実績						
	3		基準値		見込						
			目標値		実績						
	4		基準値		見込						
			目標値		実績						
エピソード	事業開始からの経緯										
	<p>平成18年4月に長久手町（現市）平成こども塾が開館し、近隣の里山（竹林等）の整備を市民と共に進めながら、小学校や市民ボランティア（平成こども塾サポート隊）と連携、他市町村や環境団体、近隣の大学他と連携、プロの環境教育団体等への委託を行い「体験」をキーワードに体験型プログラムを実施してきた。</p>										
	R5(2023)年度の取組、改善したこと。目標が達成できなかった場合はその理由										
<p>平成こども塾サポート隊事業及び学校連携事業において、講師の高齢化が課題となっているが、今年度は、講師である野外活動同好会のメンバーに60歳代の方々が6人加入した(目標人数は3人)。今まで対策として生涯学習情報誌「スマイル」や平成こども塾ホームページへの募集記事掲載及び大人向け工作プログラムを実施することで講師の発掘、勧誘を行っていたが、講師の友人に「声かけ」による勧誘をしていただいたことが一番大きな成功要因であると考えている。今後は、「定着」してもらえるよう我々スタッフからの挨拶の励行、話しを伺う等のコミュニケーションを日々取るよう心がける。</p>											

Ⅲ 事業の成果・課題分析（アウトカムの詳細）	成果指標（CHECK）	成果指標名（中間成果をはかるもの）	単位	成果指標の推移と目標					
		参加者の満足度	%	R3 年度	R4 年度	【現状】 R5 年度	R6 年度	R10 年度	
				98	83	89.5	90	95	
		成果達成状況				指標目標値の根拠			
	B	A. 想定より良い B. 想定どおり C. どちらともいえない D. 想定を下回っている			体験型環境教育事業を行う施設である平成こども塾は、その成果を図るには参加者の満足度をもって指標とすることが適切と判断するため。 注）上記のR3年度の数値に関しては、満足度4段階中上位2つを集計した数値だが、かなり高い満足度となったため、令和4年度からは新指標として満足度4段階中上位1つ（とても良かった）を集計した数値へ変更した。				
	評価の理由、分析								
	コロナ禍により回数や参加人数の増加を追う時代ではなくなり、より安全に、より満足度の高いものを志向する時代になったと考えるが、プログラム実施回数は、当初202回の計画で194回実施した。これは、サポート隊食と農班が天気の影響と竹林整備が整備不要の状況だったことから中止した日があったことによる。回数こそ減ったが内容としては計画通り推移している。								
	今後の方向性（3年～5年先）		今後の方向性の理由						
	A	A. 現状維持 B. 拡充 C. 縮小 D. 廃止		市民ボランティア（平成こども塾サポート隊）による委託プログラムが高齢化により継続が困難になることが見込まれるため、委託先を民間の専門事業者へ変更し、その補助をサポート隊が行う形態を模索する。それにより参加者の満足度も高まると考える。					
	改善ポイント ※今後の方向性がAの場合は記入不要 （成果指標を踏まえ、総合計画基本目標達成のため、必要性、有効性、効率性、公平性、歳入確保の観点等から見直しの余地のある取組を記入）								
見直しの余地のある取組名		見直しの方向性	理由及び具体的な見直しの内容				見直し可能年度		
1		<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止							
2		<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止							
3		<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止							
加える変化（ACTION）									

IV 費用	令和7年度予算の方向性 (PLAN)	R7年度の費用 (R6年度比)		(単位：千円)	R6(2024)年度	R5(2023)年度		R4(2022)年度			
		A	A. 現状維持 B. 拡充	事業費	予算	予算	決算	予算	決算		
			C. 縮小 D. 廃止		5,320	5,320	5,068	5,327	4,975		
		理由			特定財源	合計額	186	155	155	154	70
		プログラム内容は変わるが、体験学習事業の枠組みは現状維持とする。 ただし、プログラムの一部をサポート隊から専門業者へ委託化した場合、予算が発生する可能性がある。				(内 国費)					
						(内 県費)					
						(内 諸収入)	179	148	148	141	67
						(内 その他)	7	7	7	13	3
		積算額			一般財源	5,134	5,165	4,913	5,173	4,905	
		未定			R6年度予算の内訳 <細々節名、 予算額、 (R5年度予算額) >						
			平成こども塾講師報償金 3,344千円 (3,344千円)								
			平成こども塾創造スタッフ委託 1,976千円 (1,976千円)								
			3年間の推移								